

## 地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

事業番号	7000006				
事業メニュー区分	(1)①公共施設省エネ・グリーン化推進事業				
事業の名称	伊達市役所庁舎窓ガラス遮熱コート・屋上緑化事業				
事業の主たる実施場所	伊達市役所本庁舎及び梁川分庁舎				
事業の目的・概要	<p>窓ガラス面積の多く外気の影響を受けやすい伊達市役所本庁舎及び梁川分庁舎において、窓ガラスへの省エネ遮熱コート及び屋上緑化を複合的・一体的に整備することにより、冷暖房効率を向上させて温室効果ガス削減を図るとともに、市民・来庁者等へPRして地球温暖化対策の重要性を啓発し、事業所等への普及拡大を図る。</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ遮熱コートガラス面 1,197m<sup>2</sup> うち本庁舎681m<sup>2</sup>、梁川分庁舎516m<sup>2</sup></li> <li>・屋上緑化ユニット敷設(セダム類)570m<sup>2</sup> うち本庁舎450m<sup>2</sup>、梁川分庁舎120m<sup>2</sup></li> </ul>				
事業実施の方法・内容	・補助事業(伊達市への補助により実施)				
	年度	合計	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	総事業費	20,041	0	20,041	0
	補助金所要額	20,000	0	20,000	0
事業費の算出根拠	算出根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラスコート 1式 10,842千円(本庁舎6,504千円、分庁舎4,338千円)</li> <li>・屋上緑化 1式 8,901千円(本庁舎7,028千円、分庁舎1,873千円)</li> <li>・設計業務委託 298千円</li> </ul> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎 ガラスコート 6,000円 × 681m<sup>2</sup> = 4,086,000円 同仮設工事(足場) 857,632円(小計 4,943,632円)</li> <li>屋上緑化ユニット敷設(セダム類)11,500円 × 450m<sup>2</sup> = 5,175,000円</li> <li>共通費(共通仮設費、現場管理費、一般管理費) 2,768,826円</li> <li>計 12,887,000円+消費税644,350円 = 13,531,350円</li> <li>・梁川分庁舎 ガラスコート 6,000円 × 516m<sup>2</sup> = 3,096,000円 同仮設工事(足場) 82,618円(小計 3,178,618円)</li> <li>屋上緑化ユニット敷設(セダム類)11,500円 × 120m<sup>2</sup> = 1,380,000円 共通費(共通仮設費、現場管理費、一般管理費) 1,357,591円</li> <li>計 5,916,000円+消費税295,800円 = 6,211,800円</li> <li>・設計業務委託料 297,150円</li> </ul> <p>合計 20,040,300円</p>			

## 地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

事業番号	7000006								
事業メニュー区分	(1)①公共施設省エネ・グリーン化推進事業								
事業の名称	伊達市役所庁舎窓ガラス遮熱コート・屋上緑化事業								
事業効果の算出根拠	年度	合計	平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	CO2削減効果(t/年)	48.0t	—	48.0t	—				
	雇用効果(人/年)	2	—	2	—				
	事業実施スケジュール	平成22年度 工事施工							
他の国庫補助制度がある場合その名称	なし								
自治体独自の既存補助制度がある場合その名称(概要のわかる資料を添付すること)	なし								
備考	・総事業費と補助金所要額の差額については、市の一般財源を充当すること。								

ガラスコート: 本庁舎電気→ $24,960\text{kWh} \times 0.469 = 11,706\text{kg-CO}_2$   
                   分庁舎電気→ $3,324\text{kWh} \times 0.469 = 1,558\text{kg-CO}_2$   
                   本庁舎灯油→ $2,570\text{㍑} \times 2.49 = 6,399\text{kg-CO}_2$   
                   分庁舎重油→ $5,664\text{㍑} \times 2.71 = 15,349\text{kg-CO}_2$   
 屋上緑化: 本庁舎電気→ $18,564\text{kWh} \times 0.469 = 8,706\text{kg-CO}_2$   
                   分庁舎電気→ $7,425\text{kWh} \times 0.469 = 3,482\text{kg-CO}_2$   
                   吸収量  $1.55\text{kg-CO}_2/\text{m}^2 \times 570\text{m}^2 = 883\text{kg-CO}_2$  合計  $48,083\text{kg-CO}_2$

## &lt;算出の考え方(ガラスコート)&gt;

夏季・冬季の電力・灯油・重油の使用量実績に(電気はオフィス部門のエネルギー消費割合の空調割合を乗じ(省エネセンター調査))、当該工法による熱量削減(夏季16%、冬季9.7%)を乗じて得た削減電力量に排出係数を乗じて計算。

## &lt;算出の考え方(屋上緑化)&gt;

1日の $\text{m}^2$ あたりの遮熱効果(0.56kWh)に冷暖房運転日数及び施工面積を乗じて得た削減電力量に排出係数を乗じて計算。吸収量は1 $\text{m}^2$ あたりの推定吸収量に施工面積を乗じて計算。